

協会記事

理事会（平成 18 年度第 3 回）

平成 18 年 9 月 25 日（月）17:30 ~ 19:30、当協会役員室において開催。

出席：前島郁雄（会長）、盛谷智之（副会長）、大森博雄（副会長）、江藤哲人、高村弘毅、田村俊和、西田耕一、長谷紘和、三上岳彦の各理事（笠原順三理事は欠席、委任状提出）、嶋崎吉彦、田邊 裕の両監事及び事務局。

・議事録の承認

平成 18 年度第 2 回理事会議事録は承認された。

・報告事項：

1. 編集委員長報告：笠原理事欠席のため田村理事

115 巻 3 号以降の編集状況が資料により報告された。3 号が 9 月末、4 号が 10 月末頃発行予定であること、5 号は「水」の特集号で、更に「首都圏直下型地震」の特集号などが進行中であると報告された。

2. 行事委員長報告：三上理事

10 月 28 日開催予定の秋季公開講演会について説明があった。

3. 図書委員長報告：江藤理事

「東京地学協会報告」全 18 巻の CD 化の見積金額が報告された。

4. 会館委員長報告：盛谷理事

会館屋上の表面被覆に一部欠陥が発見され、応急修理が終了したが、トップコート塗装が必要との要求があり、関連して、保証期間と保証の条件とされるメンテナンス工事の関係が議論された。

5. 将来計画委員長報告：田村理事

資料により地球惑星科学連合との関係の持ち方についての考え方が示された。将来「交流」または「渉外」を担当する委員会が必要になるのではないかとの意見に対して議論されたが、今年中に結論を得るべく検討することになった。

6. 日本地学史編纂委員会報告：高村理事

9 月 8 日に開催された委員会について報告され

た。故今井委員長に対する紙碑の執筆、新しく委員になった矢島委員の担当、「戦後の地学」に関する原稿の進行状況などが報告された。

7. 庶務担当事項報告：長谷理事

編集用カラー複合機の導入、光ファイバーの導入、米国からの入会に関する照会などが報告された。

・議題：

1. 会員の入退会について

入会申込者：鶴我佳代子、桑原 連、河本大地、廣瀬 孝、田林 雄、及び山口史子、以上 6 名の入会が承認された。

逝去者：武久義彦会員。

申し出による退会者：下鶴大輔、森 一男の両会員が報告されたが、下鶴会員については保留になった。

2. 第 2 回評議員会議案について

10 月 28 日開催予定の評議員会では、前回資料配付だけに終わった編集委員会規定の改定案、ならびに地球惑星科学連合への対応について取り上げる方向に決まった。

3. 平成 19 年選挙について

長谷理事から来年の選挙について説明があり、理事の定数を 1 名増やして 11 名とし、評議員定数も同様 1 名増の 21 名にすることが決まった。また候補者推薦委員会を理事 10 名で構成することが決定され、推薦に関しては、候補者の専門分野の均衡などを考慮する必要があると指摘された。

次回理事会は 11 月 20 日（月）17:30 から開催することに決まった。

評議員会（平成 18 年度第 2 回）

平成 18 年 10 月 28 日（土）13:00 ~ 14:00、中央区日本橋 3 4 13 東京八重洲ホール A 会議室において開催された。

評議員 18 名のうち、石原丈実、岩田修二、柏木高明、小玉喜三郎、谷内 達の 5 評議員が出席、委任状提出者 8 名、合計 13 名で会議は成立。外に前島郁雄会長、盛谷智之、大森博雄両副会長、笠原順三、田村俊和、西田耕一、長谷紘和、

三上岳彦各理事及び嶋崎吉彦、田邊 裕監事の10名が同席した。

前島会長が開会を宣言し、当協会が進めている業務の中から二つの案件について意見を伺いたい旨の挨拶があった。次に定款に沿い評議員の互選により谷内達評議員が議長に選出された。また、議事録署名人として石原丈実、柏木高明両評議員が議長から指名された。

議事案件として1)編集規定等の改定について、2)日本地球惑星科学連合等との連携業務の進め方についての二案件が取り上げられた。

1)について笠原順三編集担当理事から、資料に基づいて編集業務の現状報告がなされるとともに当協会がここ数年来進めてきた電子媒体による業務内容公開を含めた編集業務の整備結果を地学雑誌投稿規定としてまとめたことについて説明が

あった。これに対して評議員から、投稿原稿が大量になった場合の扱い方及び使用言語について、最終的には編集委員会判断を加えて決めた方がよいとの意見が出された。

2)については田村俊和将来計画担当理事から、資料に基づいて最近における当協会関連領域における学会連合化へ向けた動きとこれら学会連合に対する当協会の加盟の実情説明があった。これらの中で、とくに日本地球惑星科学連合との連携について、当協会理事会での審議状況を踏まえた連携のありかたについての基本的考え方と対応現状の説明があった。これについて評議員から、引き続き理事会で審議して欲しいとの希望とともに、できること、できないことを明確化することが必要であろうとの意見があった。

以上で議事を終り、議長は閉会を宣した。